

早めのライトの点灯 上向きライトの活用



夜間事故の危険性

夜間の交通事故は、重大事故につながりやすい傾向があります。昼間の事故に比べ夜間は死亡事故になる割合が2倍以上です。危険を早期に発見し、回避措置を少しでも早く講じるため、夜間の運転時には、正しく、上手にライトを使用することが重要です。



知っていますか？

警視庁HPから (H28年中)

走行時、ライトは上向き（走行用前照灯）が基本です。対向車や先行車がある場合には、下向き（すれ違い用前照灯）にしましょう。



時速60キロで走行していた場合、下向きライトでは40メートル先の歩行者を発見しても手前で停止し衝突を回避することは困難です。下向きの場合は、安全に停止できる速度で走行することが重要です。

自転車

- 自転車も車両です。夜間はライトを点けなくてはなりません。
- 車体側面にもリフレクターなどの反射材を取り付けましょう。

歩行者

- 夜間、夕暮れ時はLEDライトや反射材を活用しましょう。
- 運転者から見落とされていることを考え、十分に余裕を持って横断しましょう。



早めのライトの点灯 上向きライトの活用



(対向車、前走車があるときは下向きへ切り替え)

広島県警察・(一社)広島県安全運転管理協議会

車内用ステッカーを作成しました。希望される事業所があれば、(一社)広島県安全運転管理協議会事務局へお申し出ください。数に限りがあるため先着順とします。

※但し、協議会会員事業所に限ります。

(一社)広島県安全運転管理協議会事務局 ☎082-941-2033

「点ける  広島県」ライト点灯運動実施中